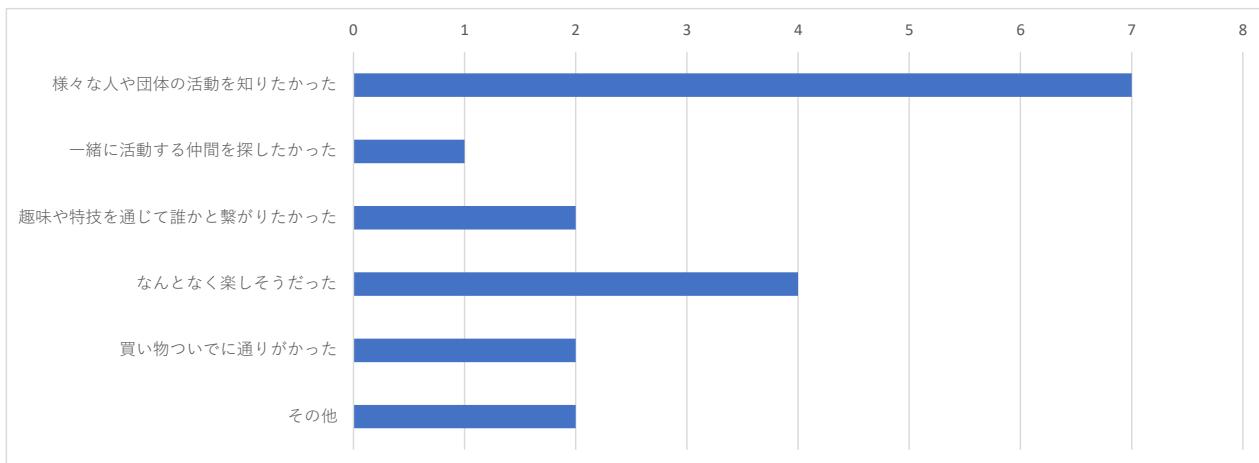


「まなび☆ときめきフェス～新たな学びに出会える日～」アンケート結果(一般)

Q1・なぜ今回のイベントに参加してみようと思いましたか？(複数回答可)

回答	人数(人)
様々な人や団体の活動を知りたかった	7
一緒に活動する仲間を探したかった	1
趣味や特技を通じて誰かと繋がりたかった	2
なんとなく楽しそうだった	4
買い物ついでに通りがかった	2
その他	2

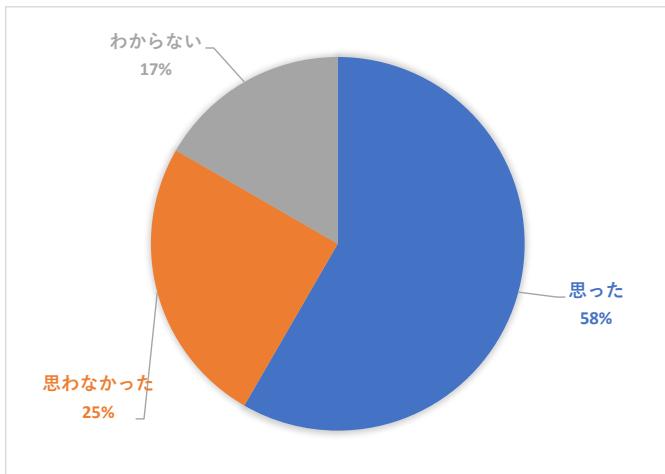


【その他(原文のまま掲載しています)】

- ・今年度から男女共同参画推進員になり、自宅に案内が来た
- ・市民プラザイベント参加

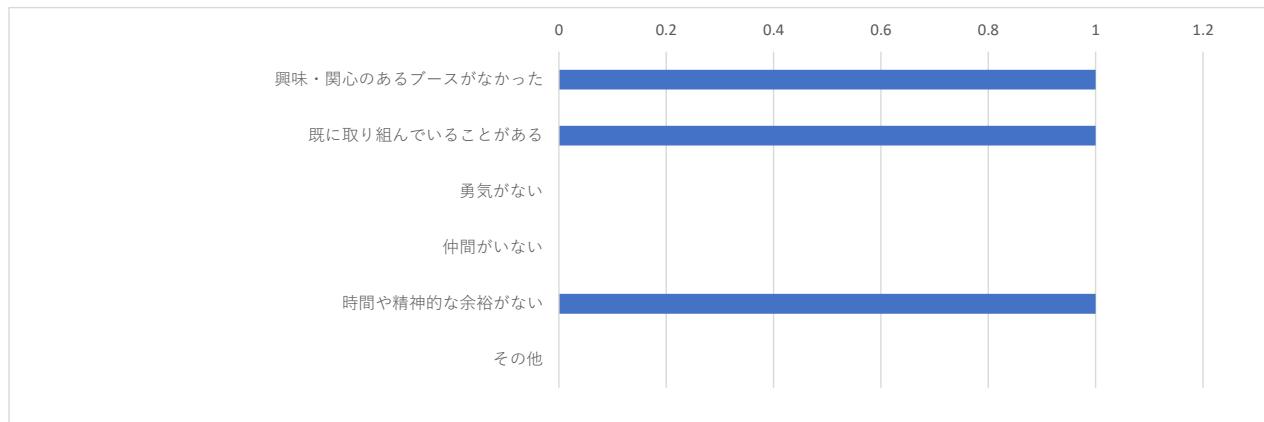
Q2・参加してみて、なにか新しいことを始めたい、学びたいと思いましたか？

回答	人数(人)	割合
思った	7	58
思わなかった	3	25
わからない	2	17
小計	12	



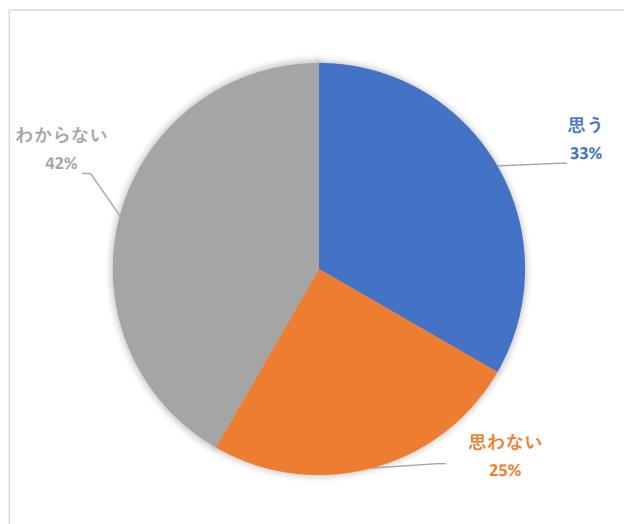
Q2で「思わなかった」と回答された方におたずねします。その理由はなんですか？(複数回答可)

回答	人数(人)
興味・関心のあるブースがなかった	1
既に取り組んでいることがある	1
勇気がない	0
仲間がいない	0
時間や精神的な余裕がない	1
その他	0



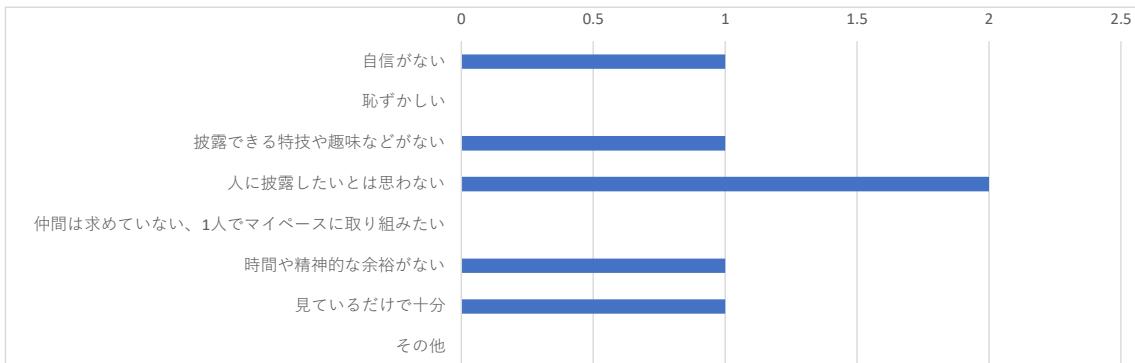
Q3・機会があれば、自分もなにかを発表・出展してみたいと思いますか？

回答	人数(人)	割合
思う	4	33
思わない	3	25
わからない	5	42
小計	12	



Q3で「思わない」と回答された方におたずねします。その理由はなんですか？(複数回答可)

回答	人数(人)
自信がない	1
恥ずかしい	0
披露できる特技や趣味などがない	1
人に披露したいとは思わない	2
仲間は求めていない、1人でマイペースに取り組みたい	0
時間や精神的な余裕がない	1
見ているだけで十分	1
その他	0



その他、感想やお気づきになられたことなどがございましたら、ご記入ください。(原文のまま掲載しています。)

設問1でも回答したように、今日は男女共同参画推進員の立場で参加しました。先に言い訳をしますと、入院で不在だった時いつの間にか決まっていたので正直何をするのかもわからない状態です。そこで成果発表の場が設けられたという案内をもらったので、いったい何を目的にしているのか、どんな活動をしているのか、何を推進員として伝えればいいのかという疑問に対するヒントが得られるのではないかと思いました。10時から14時ごろまで見て回りましたが、なるほどと腑に落ちるような内容はなかったというのが正直な感想です。例えばSNS講座関連についての私の考察は、いまだに日本では女性というだけで活躍ができなかつたりするのが現状である。しかしSNSを活用すれば、自分が発信したものに関心を持ってくれた人と直接接点ができる。会社組織や従来のしがらみといったものを考えなくていい。だからビジネスチャンスが生まれ、特技を生かしてやりたいことを楽しくしながら収入につなげることができる。だからあえて女性のための講座と言っていたのであろうと。

しかし情報発信というのは別に男女の区別をつけるようなものではないのでしょうか。男性が発信したから多くの人に見ても見えるというものではありません。発表の場でも語られていたように、知りたいことと伝えられることの一一致。さらにそこから知り合いに拡散されることで分母が増え、よりヒット率が上がっていく。その情報を女性が発信したかどうかというのはあまり関係ないのではないでしょうか。チャンスを与える、可能性を広げるというのが第一歩だというのならばそれもいいでしょう。

私が懸念しているのは、この取り組みが共同参画というのにどうつながるのか。どのような社会に変わっていくのかということです。本来であれば年齢も性別も国籍すらも超えて伝えていく、認め合う、支えあうということこそが理想であり目指すところなのではないかと思うのです。もし私の言っているところが目指すべき姿なのだとすれば、どうすれば理想で終わらず現実にできるのか。そのためには必要な教育とは、経験とはなんなのか。どうすれば先入観や偏見が少しでもなくなるのか。

偏見という言葉で思い出したのが紙芝居です。歴史を知る、地元の著名人を知るという点では意義のある取り組みだと思いました。しかしあえてひねくれた解釈をすれば、女のくせに3人しか選ばれなかつた賞を受けたものがここにいる、ということで有名になったとも言えないでしょうか。養子に迎えられた経緯については詳しく語られませんでしたが、もしかするとそれすらも女だったからという理由があつたのではないかと、話を聞きながら考えていました。もしそうだとするとこれは本当に語り継ぐべき話なのだろうか、高く評価された人だという一面だけを見てはいないかと思いました。

もちろん過酷な肉体労働やヤングケアラーを推奨するような意図はないでしょうが。参加はしていませんが1階中央で話し合いの場が設けられていました。そこには偏見から発せられる言葉がいくつか例として張り出されていました。いったいこの手の問題が取り上げられるようになってから何年たっているのでしょうか。その間何も対策や取り組み、教育がされていなかつたわけでもないでしょう。なのにいまだに変わらず問題として残り続けている。これはもう今までのやり方では解決しないといわざるを得ません。地道に粘り強く続けていても変わっていないのです。おそらく取り組みの結果を評価できないのもそのためでしょう。関心を持つ人が共感を得るために集会へ参加する。本当に認識を変えてほしい人はそもそも関心を持たない。これではいつまでたっても平行線のままでしょう。推進員という立場になったからというわけではありませんが、私も今まで以上にどうあるべきか、思想の自由や権利を尊重しつつ共存できる道を探っていこうと思います。

1

2 楽しそうなイベントでした。

3	今からでも、何かを始めてみたい、挑戦したいと思いました。
4	近くに活躍している人を知つて元気になりました。
5	もう少し、お知らせが広くあれば良かったかな?と思いました。 でも、イベント的な事で、お子さん達が参加されていたので、関係者が多かったのかな?とお世話様でした。 ありがとうございました。
6	あまりにも入客が少なく活気が無い。もっとジャンルを絞って出店者を募るべき イベントの広報がなってない。
7	今回、受講で参加することになり、ちょっと躊躇もありました。しかし、講座を休まずくじけず出席して発表会にも参加でき、様々な方とも交流でき良かったです。先生には沢山励ましていただき感謝しています。
8	伝承館の糸紡ぎ、糸、布までの行程に少し興味が持てた。